



室蘭地域での病院統合問題は

10年後視野 躍るマネー

アングル

室蘭3総合病院

市立室蘭総合病院	病床数 549床
	常勤医師数 40人
日鋼記念病院	病床数 479床
	常勤医師数 57人
製鉄記念室蘭病院	病床数 347床
	常勤医師数 61人

いずれも4月1日現在

再編議論 手詰まり感

【室蘭】人口減に伴う医療需要の減少を見据えた、室蘭市内3総合病院の再編議論は、約1年半が経過したものの、市立と民間2病院との間で意見の隔たりが大きく、議論に手詰まり感が漂っている。合意できたのは、市内2カ所に機能が異なる医療機関を整備するという方向性のみ。民間側は前提として市立病院の赤字解消を強く求めており、両者の溝が埋まる気配は見えない。

(田中雅久)

12回の会合を重ね、市内東部に「高度急性期・急性期」を担う医療機関、西部に「回復期・慢性期」など

「市立」赤字巡り官民に溝

を担う医療機関を整備することで合意。経営形態や病床数、既存施設を活用するのかが新規に整備するのかが、現在の3病院をどうするか、といった再編の核心部分は手詰まり。議論が進まない背景には、多額の赤字を抱える市立に対して、民間側の不信感がある。市は、本年度予算で一般会計から病院事業会計に16億1900万円を繰り出す。累積欠損金は、本年度末で16億7226万円に上る見込みだ。

新型コロナウイルスの感染者も受け入れる感染症病床や、2病院にない精神科病床があり、金院長は「うちが診ないといけない場をなくす人が出てしまう」と話す。市は本年度、市立の経営改善に向け、2千万円かけて大手監査法人に委託し、収入増の方策を探る。予算編成や人事で自由度が高まる独立行政法人への移行も視野に入れる。ただ、製鉄記念の前院長は「協議会で、非効率な議論に約1年半の時間と努力を費やした」ということだ。市は、このままでは人口規模に対する病床数の過剰感が強まり、医療機関の共倒れも懸念される。市立と民間の堂々巡りの議論が続く中、市医師会の野尻秀一会長は「立ち止まっている医療現場が起きる」と指摘する。



値上がり期待 円安追い風
1面から続く
二セコ キセキ
【NISEKO】を生む力

閑古鳥にも依然強気
七光星に輝きを

土里夢公園PG場
半年ぶりに快音響く
【岩見沢】北村幌達
布の土里夢公園パークゴルフ場が5日、オープンした。例年よりも1週間以上早いオープン。冷たい風が吹く中でも6コース54ホールでは、オープン待ちのファンが待ちわびていました。

販売実績122億7千万円
いわみざわ農協 協議案原案通り承認
【岩見沢】いわみざわ農協(村木秀雄組合長)は7日、JAいわみざわ青森会館で、第26回通常総代会を開いた。2019年度販売実績は、計画を1.4%下回る122億7000万円だったと報告。20年度は前年度実績比3.7%増の127億3200万円を目指すとした。



【末水直樹】